かしわぎ

新宿区立柏木小学校
学校だより第352号
令和８年１１月号
１０月３０日発行

https://www.shinjuku.ed.jp/es-kashiwagi/index.html

Why⇒What⇒How

校長　竹村　郷

秋の日差しをいっぱいに浴びて、運動会を滞りなく開催することができます。現在は、朝の７時前ですので、予測のもと、お礼を先に申し上げさせていただきます。子どもたちへ惜しみない声援を送ってくださいましたこと、誠にありがとうございました。子どもたちにとっても満足のいく、よい一日となったと思います。ありがとうございました。

さて、柏木小学校の強みは、何度か申し上げてきましたように、躍動する子どもたちの姿です。これは、手前味噌となりますが、他の学校、特に国立の附属小学校等の有名校と比べても、勝っています。このような姿に育てるには、教職員のたゆまぬ寄り添いがあったことは言うに及びませんが、実は根本の考え方というか、アプローチから違っているのです。

まず、子どもたちには、失敗をさせたくないので、失敗しない方法を教えたくなります。これだと確かにその場はなんなくやり過ごせますが、子どもはいつも誰かの指示や助けを当てにします。本校は、まず「How」を指導することをやめました。その前に、これからすることは、何を達成するために行うのかという「What」を考えさせます。さらには、そもそもなぜこれをしようとしているのかという「Why」を前提とさせます。つまり、目的や意図を明確にして、何事にも取り組ませようとしているのです。

「トライ＆エラー」という言葉がありますが、意思や意図をもたない「トライ」は、子どものためにある言葉ではなく、指導者の側にある言葉です。しかし「エラー」は子ども自身の責任というか過失となってしまいます。このような状況で、子どもたちはのびのびと各自の力を発揮できるでしょうか。その時の状況で、子どもたち個々が、「どういった理由で(Why)」で物事と向かい、「どこをゴールに定めて(What)」ということを認識というか納得する必要があります。この部分のアドバイスは有効です。しかし、強制は禁物です。これで各自が意図をはっきりともてるようになったら、さあやってごらんなさいと「どうやって(How)」を任せるのです。ここでは、むしろ「エラー＆トライ」といった気持ちで、チャレンジを推奨するのです。

これを繰り返しているうちに、本校は前向きで、創造することを愉しむ子どもたちに育ってきました。育ちいく子どもたちに、どうかご期待ください。

11 月の生活目標「正しい言葉づかいをしよう」

１１月の主な行事予定

1	日		
2	月	運動会振替休業日	
3	火	文化の日	
4	水	B4　安全指導日　クラブ活動	
5	木	委員会集会（図書委員会・読書旬間） 3年生社会科見学	SC
6	金	柏木ライブ	SC
7	土		
8	日		
9	月	全校朝会　読書旬間Ⅱ始	SC
10	火	たてわり班活動・たてわりロング	
11	水	B4	
12	木	児童集会	SC
13	金	避難訓練・柏木ライブ	SC
14	土		
15	日		
16	月	全校朝会・5・6 年生 6 時間授業	SC
17	火	学校公開・道徳授業地区公開講座 第二回学校説明会（11:30～）	
18	水	学校公開・クラブ活動	
19	木	音楽朝会・5年薬物乱用防止教室	SC
20	金	読書旬間Ⅱ終 全員個人面談①	SC
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	全員個人面談②	
25	水	B4　就学時健康診断（13:30～） 柏葉学級と五年生との和太鼓交流	
26	木	B4	SC
27	金	B5　全員個人面談③	SC
28	土		
29	日		
30	月	B5　全校朝会・全員個人面談④	SC



B：清掃なし　　※予定は変更になることがあります
B4（4時間授業）…13：15　B5（5時間授業）…14：15
★SC…スクールカウンセラー在校日

学校での児童の様子を、HPで紹介しています。
「かしうさだより」をご覧ください。

仲間とともにつくり上げた運動会

３年担任

今年度、中学年は扇子を使った表現運動に取り組みました。自分たちで決めたテーマ「華～一人じゃない、仲間とだから～」という言葉を胸に練習に挑みました。使用する道具や曲を知ったときから、とてもやる気に満ちた様子と同時に、難しい振付や集団技に対する不安を抱いていました。慣れない動きについていくことが精一杯で、普段元気いっぱいの３ 年生も疲れて教室に戻ってくる日々が続きました。各教室での練習や家庭でタブレット端末を活用しながらの練習を積み重ねることで自信をもって取り組めるようになりました。また、クラスやグループで掛け声やポーズなどを決め、団結力も高めてきました。

当日、中学年として４年生とつくり上げた表現を大勢の人に見せることができた３年生は、満足そうな表情を浮かべていました。テーマにある「一人じゃない、仲間とだから」の通り、うまくできない子と一緒に練習をしたり、アドバイスをし合ったりして４年生と一緒に大きな「華」を咲かせることができました。今回の経験を、今後の生活や行事に活かしていってほしいです。

河口湖合同移動教室を通した挑戦と成長

柏葉担任

１０月８日（木）、９日（金）の２日間で柏葉学級の４・５・６年生は河口湖合同移動教室に行きました。１日目は、朝霧高原もちやで昼食をとった後、大きな遊具を目の前にすると、子どもたちは大喜びでした。富士ミルクランドでアイスクリーム作りを体験しました。自分たちで作ったアイスクリームは格別だったようで、おいしそうに食べていました。交流会では、「猛獣狩り」などのゲームを行いました。他校の友達とも一緒に遊び、楽しい時間を過ごすことができました。２日目は、みんなが楽しみにしていた富士すばるランドへ行きました。事前に活動班で話し合って決めたエリアを回り、友達と一緒にたくさん遊ぶことができました。

今回の宿泊行事では、「まずは自分のことは自分でやってみよう」ということを大切にしました。身支度や荷物の整理など、しおりを見て自分で考え、挑戦していました。今回の経験を通して、「自分でできた」という実感を積み重ね、自己効力感を高めていってほしいと思います。そして、この経験を自信につなげ、これからの学校生活でもさまざまなことに挑戦してほしいと思います。

読書旬間「みんなで楽しむ読書の秋」

図書館教育担当

秋が深まり、さわやかな風が心地よい季節となりました。読書の秋という通り、落ち着いて本と向き合うにはぴったりの季節です。

本校では、春と秋に読書旬間を設けています。11月９日（月）から２０日（金）までの秋の読書旬間では、図書委員の児童が中心となって「みんなで楽しむ読書の秋！」をテーマに、様々な催しを計画しています。本占い、すごろく、謎解き、人気シリーズに関するクイズなど、たくさんの人に図書室へ足を運んでもらい、本の世界に親しんでもらおうと張り切って準備を進めています。また、期間中の朝の時間には、各学級の図書ボランティアの皆様による読み聞かせも予定されています。

読書は、知識を広げるだけでなく、想像力や豊かな心を育ててくれます。日常生活ではあまり使わない言葉に触れることで語彙が増え、文章を読み取る力も高まります。また、物語を通じて他者の感情や異なる価値観を知ることで、感受性が豊かになります。この機会に、ぜひお気に入りの一冊を見つけて、ご家庭でも読書の時間を楽しんでいただければと思います。

教育相談について

スクールカウンセラー（ＳＣ）

相談室の虹の間において、東京都 SC と新宿区 SC ２名で週３日、教育相談を行っています。児童からの相談のみならず、保護者の方からの相談を受けております。相談は担任・管理職等を通して、または相談室直通電話（03 - 6279 - 1754）からご予約ください。時期に応じた心理学テーマで「相談室だより」を発行し、保護者の方に向けてのメッセージも発信しておりますので、ご参照ください。

児童の利用は休み時間が多く、虹の間でボードゲームや折り紙などをしながら、関係性の構築に努めております。小学校の SC はお子様が初めて出会うカウンセラーでありましょう。長い人生において相談相手、伴走者と思える存在たるべく、話してよかった、話して楽になったと感じてもらえるよう努めております。

保護者の方々におかれましては、お子様の気になること、登校渋り、いつもと様子が違う、苛々している、不安が高い、学校と家庭で態度が違う友達関係のことなど、どのようなことでも結構ですので、ＳＣにご相談いただき、一緒に考え、解決策を探っていければと思います。